

みずほCustomer Desk Report 2017/05/16 号(As of 2017/05/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.43 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.27	1.0928	123.78	1.0010	1.2886	0.7393
SYD-NY High	113.85	1.0989	124.89	1.0020	1.2940	0.7446
SYD-NY Low	113.12	1.0923	123.70	0.9958	1.2881	0.7386
NY 5:00 PM	113.80	1.0975	124.86	0.9967	1.2898	0.7415
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.2/8.525		△ 25RR	0.545	Yen Call Over	
NY DOW	20,981.94	85.33	債券市場	日本2年債	-0.1650	0.7bp
NASDAQ	6,149.67	28.44		日本10年債	0.0440	▲ 0.3bp
S&P	2,402.32	11.42		米国2年債	1.2986	0.8bp
日経平均	19,869.85	▲ 14.05		米国5年債	1.8617	1.5bp
TOPIX	1,580.00	▲ 0.71		米国10年債	2.3433	1.8bp
シカゴ日経先物	19,950.00	130.00		独10年債	0.4200	2.9bp
ロンドンFT	7,454.37	18.98		英10年債	1.1380	5.2bp
DAX	12,807.04	36.63		豪10年債	2.5860	▲ 4.9bp
ハンセン指数	25,371.59	215.25		USD/CNH	6.8913	▲ 0.0074
上海総合	3,090.23	6.72		ドルインデックス	98.91	▲ 0.34
USDJPY 3M Vol	8.48	0.01%	商品市況	CRB指数	182.741	1.05
USDJPY 6M Vol	8.95	▲ 0.01%		NY金	1,230.00	2.30
EURJPY 3M Vol	8.86	▲ 0.01%		WTI	48.85	1.01
EURJPY 6M Vol	9.36	▲ 0.01%		Dubai Spot	50.84	1.34

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月15日	11:00	中 小売売上高(前年比)	4月 10.7%	10.8%
	11:00	中 固定資産投資(前年比)	4月 8.9%	9.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	4月 6.5%	7.0%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	5月 -1.0	7.3

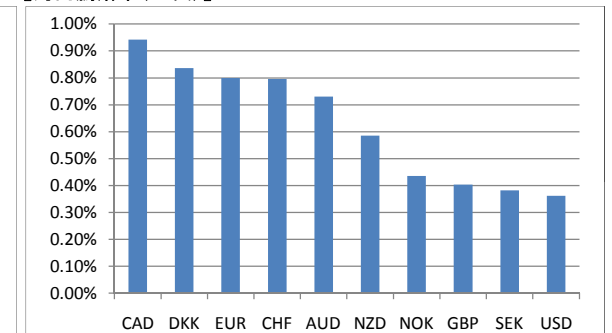
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月16日	10:30	豪 RBA議事要旨(5/2開催分)	-	-
	17:30	英 消費者物価指数(前月比/前年比)	4月 0.4%/2.6%	0.4%/2.3%
	18:00	独 ZEW現状/期待指数	5月 82.0/22.0	80.1/19.5
	18:00	欧 ZEW期待指数	5月 -	26.3
	18:00	欧 GDP・速報値(前期比/前年比)	1Q 0.5%/1.7%	0.5%/1.7%
	21:30	米 住宅着工/建設許可件数(前月比)	4月 1260K/1270K	1215K/1267K
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.4%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.20-114.20	1.0920-1.1020	124.30-125.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は底堅く推移した。週末に北朝鮮の弾道ミサイル発射の報道を受けて北朝鮮の地政学リスクが高まるも、マーケットの反応は限定的となりドル円は113円台前半から後半にかけて堅調に推移した。海外時間にロシアとサウジアラビアがOPECでの減産合意の示唆を受け、米株が堅調に推移する動きを横目にドル円はこの日の高値113.85円をつけ、113.80円でクロースした。本日のドル円相場は底堅い展開を予想する。地政学リスクが悪化する中でも、ドル円は底堅さを見せている。本日は米4月住宅着工件数や鉱工業生産等の発表が予定されているが注目度は高くは無く、材料が限られる中、ドル円相場は引き続き底堅く推移すると考える。

東京	週末に北朝鮮が弾道ミサイル発射に踏み切ったことを受けて、週明け2日間のドル円は先週金曜日のクロスレベル(113.36)から20銭程度ギャップダウンしてオープン。一時安値となる113.12を付けたものの、その後リスクオフの流れは続かず反応は限定的に留まると、113.30近辺まで持ち直して113.27レベルで東京時間オープン。仲値にかけて113.40近辺まで小幅上昇するも、その後は特段目新しい材料が無い中で動意に乏しい展開。中国よりいくつかの経済指標が発表されるも、大きく材料視されることはなく、午後にかけて113.40近辺で揉み合い推移を続けた後、113.47レベルで海外市場に渡った。また、東京時間に動きがあったのは原油相場場で、サウジアラビアとロシアが2018年3月までの協調減産延期で合意に至ったとの報道に原油価格が急騰、WTI原油先物が1バレル=47ドル台後半から48ドル台半ばまで上昇した。こうした動きを受けて、カダドルや豪ドルなどの資源国通貨が買い進まれる展開となった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.47レベルでオープン。東京時間に報じられたサウジアラビアとロシアの原油減産延期合意が改めて意識され、ドル円は113.70まで上昇。その後、ブーテン露大統領が北朝鮮に関して「脅しではなく対話をする」とのヘッドラインが流れたタイミングで反落し、113.48レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0932レベルでオープン。ドイツ地方選挙でのメルケル首相率いる与党の勝利、フランスでのマクロン大統領就任などが樂觀ムードにつながり、緩やかに独・仏金利が上昇、ユーロ高基調が徐々に進行し、1.0970レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 寛)
ニューヨーク	海外時間のドル円は113円台前半から113円台後半にかけて堅調に推移し、113.48レベルでNYオープン。朝方発表された米5月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大きく下回ると、ドル円は113.26まで下落。しかし、WTI原油先物が大幅高となったことや堅調に寄り付いた米株がプラス幅を拡大する動きに、ドル円は113.60付近まで反発。その後もドル円は113円台後半で底堅い推移が続き、本日高値となる113.85まで上昇。その後、米金利が方向感無く推移する中でドル円も113.70を挟んでのレンジ推移が続き、113.80レベルでクロースした。一方、ユーロドルは週末に実施されたドイツ州選挙でメルケル首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)が勝利したことを受け、欧州の政治懸念が一段と後退したとの見方が広がり、海外時間から堅調推移が続き1.0970レベルでオープン。朝方は上値を試す動きに1.0989まで上昇するも1.10付近ではユーロ売り意欲も強く、その後は1.0970を挟んでのレンジ推移となり、1.0975レベルでクロースした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・西谷